

市民のニーズを的確に捉え

開かれた議会を目指し



西村芳成 議長

新年のご挨拶

市議会を代表し、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

市民の皆様方には、健やかで明るく輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

昨年の夏は異常な暑さで、四万十市江川崎では、41・0度と国内新記録を初め、35度以上の猛暑日が36日間観測されるなど、記録的な猛暑が続き、雨量も平年夏の4分の1程度で、農作物にも被害が及ぶ状況でありました。

国政においては、本年4月から消費税率を8%に引き上げる閣議決定や、TPP（環太平洋連携協定）による重要農産物5項目の扱いが、関税撤廃の例外にできるかどうかの協議も難航しています。また、特定秘密保護法の審議では、衆参国会で与野党が激論したことが上げられます。多くの国民が、特定秘密保護法の定義や範囲は曖昧と感じており、内容が十分にわからないとの意見が聞こえてきます。与党の多数で法が成立しましたが、施行までの1年間で国民に十分な説明を行ってほしいものです。

一方、本市は、本年3月1日で合併から8年が経過し、少子高齢化が進む中で、人口減

少に歯止めがきかない状況が続いています。議会としても、この問題を最重要課題と捉え、定住人口増加促進特別委員会を設置し「香美市に住みたい」「住んで良かった」と思ってもらえるための施策等について、調査・研究に取り組んでいます。また、昨年も議会報告会を5月と11月の2回、市内24カ所で開催し、議会での審議結果等を報告いたしました。市民の皆様と意見交換し、地域の課題等についてお聞きして、執行部につないできました。今年も引き続き議会報告会を実施し、少しでも多くの皆様から意見を聞き、市政発展に努めてまいります。さらに、監視機能・議決権限を十分に發揮

し、教育や福祉の充実、農林業の振興、商工業・伝統産業の発展に向け、市民のニーズを的確に捉え、公平で公正な議会運営に努めます。今年が市民の皆様にとって幸多き年であり、ますことをご祈念申し上げます。新年のご挨拶と致します。



昨年11月の第4回議会報告会